

令和3年度進行管理・評価シート
千曲市歴史的風致維持向上計画（平成28年5月19日認定）
（最終変更 令和3年8月27日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画実現のための推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 千曲市景観計画との連携	2
2 屋外広告物法との連携	3
3 文化財保護法との連携	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 稲荷山伝統的建造物群保存地区 保存整備事業	5
2 八幡地区町並み整備事業	6
3 稲荷山伝統的建造物群保存地区 環境整備事業	7
4 更級・姨捨地区 環境整備事業	8
5 水源涵養里山整備事業	9
6 姨捨の棚田耕作支援施設整備事業	11
7 さらしなの里整備事業	12
8 歴史資源調査活用事業	13
9 歴史文化の発信事業	14
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存(文化財調査・指定、保存管理・活用等)について	15
2 文化財の修理、整備等について	16
3 文化財の周辺環境の保全について	17
4 文化財の防災に関する取組について	18
5 文化財の保存及び活用の普及・啓発について	19
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 日本遺産センター完成 <情報・観光の拠点として12/22グランドオープン>ほか	20
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 歴史的風致の認識を高めるための取組	21

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	22
--------------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
計画実現のための推進体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 都市計画課・歴史文化財センターが事務局を担い、歴史まちづくり法第11条に基づく千曲市歴史的風致維持向上協議会において計画推進や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行い、事業を推進することを基本とする。計画の推進や事業の実施に際しては、国や長野県の指導を仰ぎながら、庁内の関係各課との連絡調整を行い、事業対象となる文化財の所有者や周辺住民等と協議の上、一体となって事業を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

法定協議会である千曲市歴史的風致維持向上協議会について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策として、書面会議を含み、2回実施した。事業計画等について協議した。
 庁内組織である千曲市歴史まちづくり推進会議を開催した。事業の進捗状況、事業計画等について情報を共有するとともに、今後の取組等について確認した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	会議の開催に当たっては、必要に応じて書面会議により行う等、引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じる。

状況を示す写真や資料等

●令和3年度第1回千曲市歴史的風致維持向上協議会

- 1 開催方法 書面会議
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策として書面形式により行った。
- 2 審議の期間 令和3年4月30日(金)から令和3年5月31日(月)まで
※会議資料送付から意見等に対する市の回答送付までの期間になります。
- 3 内 容 (1)令和2年度進行管理・評価シートについて
(2)中間評価シートについて

●令和3年度第2回千曲市歴史的風致維持向上協議会

- 1 開催方法 対面会議
- 2 審議の期間 令和3年8月3日(火)
- 3 内 容 (1)令和3年度事業計画について
(2)計画の軽微な変更(案)について
(3)今後のスケジュールについて

●千曲市歴史まちづくり推進会議

- 1 期 日 令和3年6月29日(火)
- 2 場 所 千曲市役所
- 3 内 容 (1)千曲市歴史的風致維持向上計画の概要について
(2)令和2年度進捗評価について
(3)中間評価について
(4)令和3年度事業計画について
(5)今後のスケジュールについて



千曲市歴史まちづくり推進会議の様子 R3.6.29

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
千曲市景観計画との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	景観計画区域は千曲市全域と位置づけ、そのうち重点地区として千曲市を代表する個性ある地域について、重点的かつ段階的に景観形成を進めるために、良好な眺望景観を有する地区、歴史的・文化的景観を有する地区、自然と調和した景観を有する地区などより6地区に分け、姨捨地区を景観形成重点地区に、また、その他の5地区を候補地として設定している。 今後、他の候補地においても重点地区の指定について検討していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観計画担当者とミーティングを行い、今後の連携を確認した。歴史的風致維持向上計画と景観計画に関する情報を共有するとともに、現状と課題について意見交換を行った。 千曲市景観計画に基づき、特定の行為に対して届出の義務を課し、高さや面積、色彩等について景観形成基準に適合するよう取り組んだ。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的風致維持向上計画と景観計画に関する情報を共有し連携を図る。		
状況を示す写真や資料等			
●歴史的風致維持向上計画の重点区域における景観計画に基づく届出件数 1 稲荷山・桑原・八幡地区 3件 2 更級・姨捨地区 3件 3 戸倉上山田温泉地区 2件 合計 8件 ●景観計画担当者とのミーティング 第1回 1 期 日 令和3年4月12日(月) 2 場 所 千曲市役所 3 内 容 (1)歴史的風致維持向上計画と景観計画に関する情報共有 (2)現状と課題について意見交換 (3)連携の確認 第2回 1 期 日 令和3年9月3日(金) 2 場 所 千曲市役所 3 内 容 (1)歴史的風致維持向上計画の重点区域における景観計画に基づく届出件数の状況について (2)現状と課題について意見交換 (3)連携の確認			

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
屋外広告物法との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本市における屋外広告物は、屋外広告物条例(平成5年長野県条例第23号)により規制されている。本市内における指定区域には、基本的に屋外広告物を禁止する「禁止地域」と許可申請により設置が可能な「許可地域」の2つがある。これら指定区域における屋外広告物の表示や設置を規制・指導することにより、風致景観を維持されるものであり、本計画では引き続き屋外広告物法と連携して、歴史的風致の維持向上を図っていくものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
屋外広告物担当者とミーティングを行い、今後の連携を確認した。関係法令について情報を共有するとともに、現状と課題について意見交換を行った。 千曲市景観計画に基づき、特定の行為に対して届出の義務を課し、高さや面積、色彩等について景観形成基準に適合するよう取り組んだ。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市特有の景観に配慮した屋外広告物に移行するため、市独自の屋外広告物条例制定について検討する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
<p>●屋外広告物担当者とのミーティング</p> <p>第1回</p> <p>1 期 日 令和3年4月12日(月)</p> <p>2 場 所 千曲市役所</p> <p>3 内 容 (1)歴史的風致維持向上計画と屋外広告物関係法令に関する情報共有 (2)現状と課題について意見交換 (3)連携の確認</p> <p>第2回</p> <p>1 期 日 令和3年9月3日(金)</p> <p>2 場 所 千曲市役所</p> <p>3 内 容 (1)市独自の屋外広告物条例制定に関する意見交換 (2)連携の確認</p> <p>●屋外広告物表示禁止物件等の一斉点検</p> <p>1 期 日 令和3年9月8日(水)</p> <p>2 場 所 戸倉地区</p>			

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財保護法との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	稲荷山伝統的建造物群保存地区については、“千曲市稲荷山伝統的建造物群保存地区保存計画”(平成26年千曲市教育委員会告示3号)を策定し、保存並びに活用を図るよう取り組んでいる。 一方、名勝「姨捨(田毎の月)」については、“名勝「姨捨(田毎の月)」保存管理計画”(平成25年7月改訂)を、重要文化的景観「姨捨の棚田」については、“姨捨棚田の文化的景観保存計画”(平成20年3月)を策定し、ゾーニングと整備水準の基本方針を定め、姨捨の棚田の保存と活用に取り組んでいる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
松田家資料保存整備委員会、姨捨の棚田整備委員会、千曲市文化財保存活用地域計画作成協議会を開催し、各協議案件について情報共有並びに意見聴取を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	日本遺産の主要な構成文化財である「姨捨の棚田」保存・活用のため、整備計画を作成し、関係機関との連携を取りながら進める。		
状況を示す写真や資料等			
○松田家資料保存整備委員会の開催 1 期日 令和3年8月4日(水) 2 場所 千曲市役所 3 内容 松田家主屋等修理工事の進捗状況について 4 出席者 9名 ○姨捨の棚田整備委員会の開催 1 期日 令和3年12月14日(火)、令和4年3月22日(火) 2 場所 千曲市役所 3 内容 姨捨の棚田整備計画について 4 出席者 延べ18名 ○千曲市文化財保存活用地域計画作成協議会 1 期日 令和3年12月21日(火)、令和4年2月18日(金)、3月23日(水) 2 場所 千曲市役所 3 内容 千曲市文化財保存活用地域計画について 4 出席者 延べ31名 ○千曲市文化財保護審議会 1 期日 令和4年3月23日(水) 2 場所 千曲市役所 3 内容 千曲市文化財保存活用地域計画について 4 出席者 7名 ○千曲市伝統的建造物群保存地区保存審議会 1 期日 令和4年2月22日(火) 2 場所 千曲市役所 3 内容 令和4年度修理事物について 4 出席者 10名			
			
松田家資料保存整備委員会の様子			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
稲荷山伝統的建造物群保存地区 保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和7年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金、文化財保護事業補助金

計画に記載している内容 稲荷山伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物等の保存・活用を図るため、建造物等の買上や修理、修景などを行い、歴史的な町並みの整備を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化庁の補助金を活用し、稲荷山伝統的建造物群保存地区における伝統的建造物等の修理・修景事業を実施し、歴史的建造物の保全を行った。令和3年度実績 修理事業3件(旧高村家別邸門、旧高村家別邸塀、大内家主屋)、修景事業1件(旧高村家別邸塀)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

伝統的建造物群保存地区における建物等の修理・修景を行い、歴史的まちなみの維持・向上を図る。

状況を示す写真や資料等



大内家主屋修理前 R3.5



旧高村家別邸塀修景前 R2.8



大内家主屋修理後 R3.10



旧高村家別邸塀修景後 R3.8

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
八幡地区町並み整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成29年度～令和7年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容	松田家及び神宮寺、大頭祭沿道等八幡地区の町並み整備を行う。 また、松田家資料保存整備事業を早期に完成させ、松田家住宅の公開を図る。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松田家主屋等修理工事を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	松田家住宅の一般公開に向け、展示工事・外構工事が必要である。

状況を示す写真や資料等

○松田家主屋等修理工事
令和2年12月28日～令和3年12月22日



松田家主屋着工前 R2.12



松田家主屋しゅん工

評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
稲荷山伝統的建造物群保存地区 環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和7年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容 街路整備や防災、拠点施設整備、町家活用など、千曲市稲荷山伝統的建造物群保存地区の環境整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

稲荷山伝統的建造物群保存地区に出店しようとする事業者を支援する施策
 ・共同施設整備事業:0件
 ・商店街空き店舗等活用事業:R2年度1件、R3年度0件(R3年度はR2年度認定事業の家賃補助を実施)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	R3年度より稲荷山伝統的建造物群保存地区を商店街空き店舗等活用事業の対象地域に指定
--	---

状況を示す写真や資料等

千曲市 稲荷山伝統的建造物群保存地区
建造物等位置図





Groover Leather

R2年度 改装費補助額:1,000,000円
 R3年度 家賃補助額:200,000円

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況
更級・姨捨地区 環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成28年度～令和7年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業補助金、文化財保護事業補助金、長野県の「地域発元気づくり支援金」
計画に記載している内容	名勝「姨捨(田毎の月)」・重要文化的景観「姨捨の棚田」及び周辺の道路、農道、水路などの環境整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

ビューポイント(展望駐車場整備事業)について、文化庁協議並びに姨捨の棚田整備委員会から意見聴取を行った。長野県千曲建設事務所で行っている展望駐車場スペースの整備を含めた一般県道内川姨捨停車場線道路改良事業について、姨捨の棚田整備委員会から修景に配慮するなどの要望があったため、県と調整を行い理解が得られるよう計画内容を見直し委員会の了承を得た。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	道路(駐車場)と棚田、駐車場の法面で、自然石積みとしていた箇所は補強土壁とし、棚田景観になじむように緑化する。

状況を示す写真や資料等

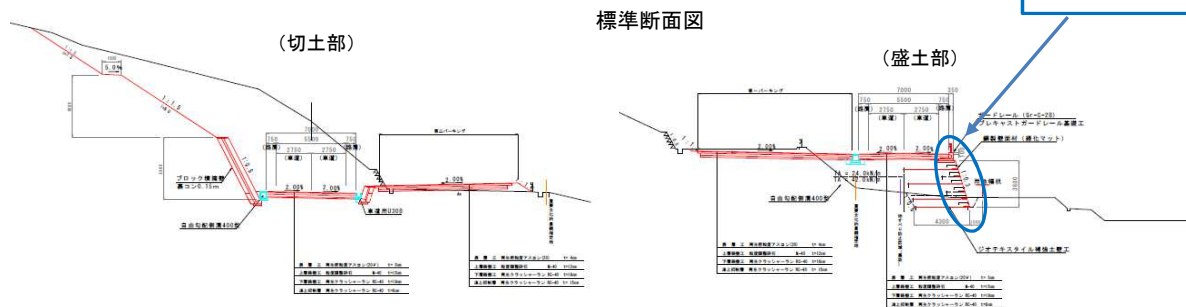
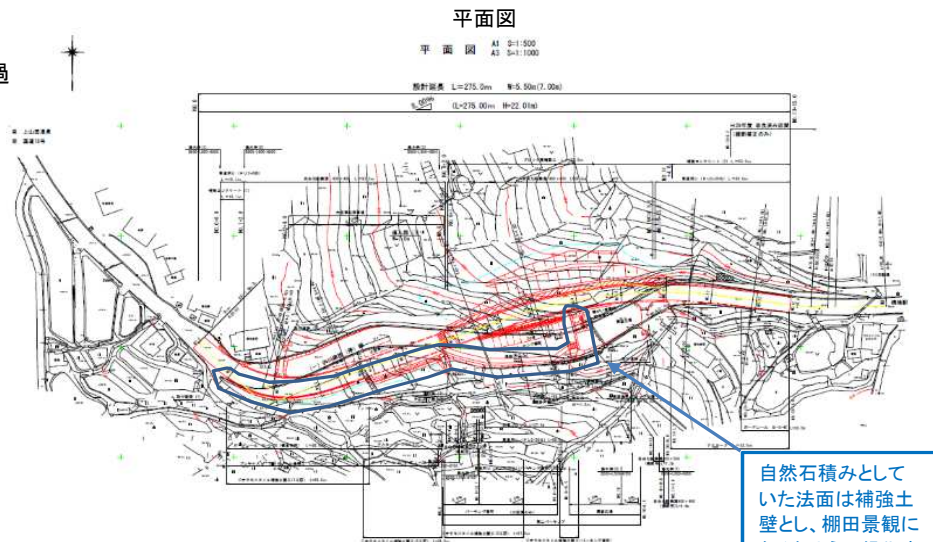
○道路改良により棚田からの景観が損なわれないよう修景に配慮した構造にするなど、姨捨の棚田整備委員会から計画内容に対する要望があったため、県と調整を行い詳細設計内容の見直しを行った。

○修景に配慮した計画内容について、文化庁との協議を踏まえ、棚田整備委員会へ説明を行い了承を得た。
 ※道路(駐車場)と棚田、駐車場の法面で、自然石積みとしていた箇所は補強土壁に変更し、棚田景観になじむように緑化する。
 (令和3年12月14日 令和3年度 第1回 姨捨の棚田整備委員会開催 参加人数17人)

○来年度から実施予定の用地測量等の実施を見据え、県と連携しながら今年度中に地元や関係地権者の理解が得られるよう丁寧に説明を行い合意形成を図る。

○姨捨棚田ビューポイント(展望駐車場事業)協議経過

- ・文化庁協議
 - 令和3年9月22日
 - 令和4年1月24日
 - 3月16日
 - 3月30日
- ・姨捨の棚田整備委員会
 - 令和3年12月14日
 - 令和4年3月22日



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況
水源涵養里山整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 姨捨の棚田の水源である三峰山や冠着山等の森林整備及び、安全に登れる登山道や遊歩道の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年5月8日に冠着山の自然と文化遺産を保存する会の協力のもと、坊城平いこいの森遊歩道の草刈りや、古峠越え古道の倒木除去、草刈、木製階段の修復作業を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地元団体等の協力を得て、周辺環境の整備を図る。
--	-------------------------

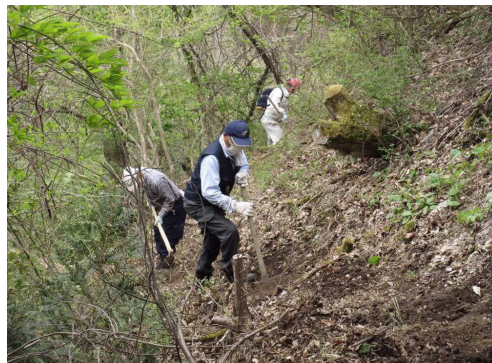
状況を示す写真や資料等

冠着山遊歩道の整備の様子

①坊城平いこいの森遊歩道の草刈



②古峠越え古道の倒木除去・草刈



評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
水源涵養里山整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	姨捨の棚田の水源である三峰山や冠着山等の森林整備及び、安全に登れる登山道や遊歩道の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
大池市民の森内の遊歩道の補修及び三峰山まで向かう登山道の整備を令和3年11月30日に実施した。(L=500m) 令和3年度大池市民の森散策者数:延べ123人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は例年と比べ少ないが、散策者の安全確保のために整備を継続していく。		
状況を示す写真や資料等			
実施前		実施後	
			

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
姨捨の棚田耕作支援施設整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和3年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地形上、耕作者が農機具を置く場所がないため、支援施設(小屋等)の整備を行い、耕作しやすい環境の整備を行うことにより、活動の継続を図る。また、都市と農村の交流を目的とする棚田貸します制度の参加者など棚田への来訪者のための駐車場を整備することにより、農道への駐車を減らし、耕作者にとって耕作しやすい環境の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①駐車場整備(完了)…工期 令和3年10月27日から令和4年3月4日まで、事業費概算3,399,000円 A=809㎡(完了)
- ②転落防止柵の設置(完了)…工期 令和3年11月2日から令和3年12月24日まで、事業費1,468,500円 L=86m(完了)
- ③農機具格納庫の設置(完了)…工期 令和3年7月26日から令和3年9月30日まで、事業費1,985,000円 N=1棟(完了)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	姨捨の「棚田貸します制度」でのイベントに合わせ、駐車場の利用、農機具格納庫を活用して靱摺りを行うなどの業務効率化を図り、「棚田貸します制度」のさらなる発展を目指す。
--	--

状況を示す写真や資料等

①駐車場整備後の状況



②転落防止柵設置後の状況



③農機具格納庫設置後の状況



①、②、③整備・設置前の状況



①、②、③整備・設置後の状況



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
さらしなの里整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 さらしなの里歴史資料館は、姨捨の歴史がわかる資料館として情報発信の拠点となることから、さらしなの里古代体験パークや資料館の改修、体験施設整備並びに、更級地区の歴史的遺産や景観を活かした歴史散策路等の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

さらしなの里古代体験パークにある復元住居の修理を実施した(N=1棟)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	古代体験パークの復元住居の差し茅修理を更級小学校との協働事業で実施
--	-----------------------------------

状況を示す写真や資料等



復元住居の差し茅修理(令和4年3月4日実施)

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
歴史資源調査活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 稲荷山の町並み形成の契機となった稲荷山城跡、更級郡衙範囲など歴史的資源の調査を行い、実態解明を図る。その成果に基づき、その保存並びに活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

更級郡衙は主要交通路付近に立地している可能性が高いため、関連する古道である善光寺道や関連遺構の残存状態を把握を目的とした松崎茶屋跡伝承地の試掘調査を実施し、建物礎石や石組の暗渠を検出した。伝承地に江戸時代から明治時代にかけての善光寺道の遺構と隣接する茶屋跡が良好に遺存することが明らかになった。
 また、過去の調査・寄贈資料の中に更級郡衙関連資料が含まれているかを確認するため、屋代高校地歴班寄贈資料の整理を行い、目録を作成した。更級郡衙と直接関連する時代の調査資料は確認できなかったが、雨宮廃寺の古瓦をはじめとした調査資料や採集資料の整理を行うことができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	現代の地割図や明治時代の地籍図等、古絵図も用いて、実態解明を図っていく。

状況を示す写真や資料等



松崎茶屋跡の石垣



整理を行った屋代高校地歴班資料(一部)

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
歴史文化の発信事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	文化財の将来の担い手である児童・生徒に対し、歴史的風致を中心とした千曲市の歴史文化に関する冊子を作成し、郷土学習資料として活用してもらうほか、観光客に対してパンフレットを作成し配布することで、より一層の誘客増、魅力発信を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
日本遺産構成文化財企画展を市民ギャラリーで開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	日本遺産の情報発信を積極的に発信し、歴史的風致に関する認識の向上を図る。		
○日本遺産企画展「月の都の1300年」 期間 令和3年8月10日～9月3日、10月5日～10月24日			
			
日本遺産企画展			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財の保存(文化財調査・指定、保存管理・活用等)について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 文化財は指定・未指定に関わらず、本市の歴史と文化を理解する上で不可欠なものであり、文化財等の調査を行い、価値が認められたものについては、市の指定・国の登録制度の活用を検討するとともに、適切な保存管理や活用が図られるよう、計画的に修理・整備、防災対策等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

長野県宝収蔵施設である観龍寺観音堂屋根修理工事にあたり、県補助金に随伴補助を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財収蔵施設の修理により、文化財の適切な管理と周辺環境の向上に寄与した。

- 観龍寺観音堂修理工事
- ・事業者:(宗)観龍寺
- ・補助事業の期間:令和3年7月～11月



観龍寺観音堂修理前 R3.5



観龍寺観音堂修理後 R3.11

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	

文化財の修理、整備等について

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

文化財の修理は、文化財の価値を維持することであるため、過去の改変履歴や調査記録等の活用と、新たな調査研究に基づき実施することを基本とする。
 特に、指定文化財の修理は、文化財保護法や長野県・千曲市の文化財保護条例に基づくとともに、文化庁に指導を仰ぎつつ、関係機関や専門家と連携して実施する。
 また、所有者等の財政的負担の軽減を考慮し、各種補助制度を積極的に活用する。
 未指定文化財や、歴史的風致形成建造物として指定した建造物の修理については、所有者等と協議しながら、保存のための対策を講じる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

観龍寺観音堂修理に伴い、観音堂内に安置されていた長野県宝「木造千手観音座像」ほかの指定文化財の調査(点検)を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

指定文化財等の適切な調査(点検)により、損傷等の早期発見に努める。

○長野県宝「木造千手観音座像」、「木造十一面観音立像」調査(点検)を実施
 調査期間: 令和3年7月～11月



長野県宝「木造千手観音座像」調査の様子
 令和3年7月16日、11月11日、17日
 観音堂から一時移転した文化財について、
 専門家による調査(点検)を実施

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財の周辺環境の保全について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 文化財の周辺環境は、文化財の価値に強い影響力を与えることから、文化財の保存・活用を図る上では、文化財単体のみ措置を講じるだけでなく、その周辺環境と一体的に措置を講じることにより、文化財の価値を高めることが重要である。そのため、都市計画法や景観法等の関連法令と連動し、文化財とその周辺環境を一体的に保全することが求められる。
 このため、引き続き都市計画法や景観法に基づいてその保全に努める。
 また、文化財周辺の景観を阻害する要素は、要素の改善や除却をするとともに、整備を行う際は、文化財や周辺の環境と調和したものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

城山史跡公園内の枯松7本の伐採処理を実施し、入場者の安全確保並びに史跡公園の景観改善に寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史跡公園における歴史的風致の維持と入場者の安全確保を図ることが必要である。

○令和3年度 城山史跡公園「荒砥城」枯松伐採業務
 期間:令和3年10月1日～10月22日



作業中



城山史跡公園枯松作業前 R3.9



作業後 R3.10

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	

文化財の防災に関する取組について

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

火災が発生しないよう予防対策の徹底と、火災が発生した際の迅速な消火体制の確保、火災が発生した際に迅速に対応できるよう日頃からの防災教育・訓練に取り組む。
 予防対策は、消防法で義務づけられている自動火災報知器や消火設備等の防火設備の設置とともに、オール電化の導入を検討し、文化財を保存する上で必要と考えられる防火設備を設置する。
 防災教育・訓練は、文化財の所有者等に対して防災に係る周知啓発と防災教育に取組み、文化財防火デーには、各地の消防団や各種自主防災組織と連携して文化財施設での消火訓練を実施する。また、地震対策として耐震診断や耐震補強工事の実施など、個別の災害ごとに必要と考えられる対策を行うことにより、き損・滅失のリスクの軽減を図る。
 また、美術工芸品等の有形文化財は、防犯環境設計の考え方に基づき、盗難にあわないよう防犯設備の設置を推奨するとともに所有者の意識改善等により、防犯性能の向上を図る。
 不幸にも、文化財が被災してしまった場合は、その後の防災対策に役立てるため、被災履歴を記録する体制を整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

1月26日の文化財防火デーに併せ、指定文化財の防火訓練を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の所有者等に対して、火災の予防対策の徹底や防災意識の向上の啓発に取り組む。

文化財防火デーに併せ、市内文化財の防火訓練を実施

- 1 期日 令和4年1月26日(水)
- 2 対象文化財 重要文化財「木造愛染明王座像」(稲荷山長雲寺)
市指定有形文化財「波間科神社本殿」(上山田波間科神社)
- 3 参加者 10名



長雲寺 文化財防火訓練



波間科神社 文化財防火訓練

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財の保存及び活用の普及・啓発について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 市内外の人びとを対象として実施する普及・啓発は、案内板等の設置やパンフレット等の作成・配布とともに、イベントの開催等により、広く普及・啓発を図る。
 市民への主な普及・啓発は、広報誌やイベントの開催等により日頃からの認識向上とともに、地域に根差した伝統芸能や行事の将来の担い手である子どもたちに対しても、これら伝統芸能や行事への愛着をはぐくむための取り組みを推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年6月に「月の都 千曲」が文化庁より日本遺産に認定された。
 日本遺産「月の都 千曲」の構成文化財やストーリーを案内できるガイド人材を養成することを目的とした「日本遺産「月の都 千曲」ガイド養成講座」を開催した。また、来訪者の当該文化財に対する理解を図り、当該地が日本遺産であることを広く周知を図るため、構成文化財6箇所案内板10基を設置した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	機会を捉え、郷土の歴史的資源の情報発信に努め、住民意識の高揚と貴重な文化財の活用を図る。
--	--

状況を示す写真や資料等

日本遺産「月の都 千曲」ガイド養成講座

■講座内容 全5回
 ①令和3年10月11日・千曲市内の日本遺産構成文化財を巡る実地研修
 ②令和3年11月15日・上田市内の日本遺産構成文化財を巡る実地研修
 ③令和3年11月29日・(座学)「月の都 千曲」と日本遺産制度、「日本遺産としての千曲市の歴史」
 ④令和3年12月13日(座学)「峠と道から考える信州」、「姨捨の棚田」
 ⑤令和4年1月17日(座学)「月の満ち欠けと暦」、ワークショップ
 ■受講生 32名



ガイド養成講座の様子



日本遺産「月の都 千曲」案内説明板の設置

■設置箇所
【既設説明板改修】
 ・長楽寺境内と歌碑群(3基)
 ・姨捨の棚田(2基)
 ・武水別神社(2基)
【新設】
 ・稲荷山の街なみと祇園祭(1基)
 ・冠着山(1基)
 ・北国街道脇往還 善光寺道(1基)




冠着山に設置した案内説明

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和3年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
日本遺産の観光拠点に <姨捨にセンター プレオープン>	令和3年4月9日	信州ケーブルテレビジョン	
千曲市日本遺産センター展示紹介① <古代の更級郡役所について>	令和3年4月12日	信州ケーブルテレビジョン	
第2章は信仰と神社仏閣 <郷土ゆかりの作家展「月の都 千曲」>	令和3年4月25日	信州ケーブルテレビジョン	
伝統芸能伝承指導者3人委嘱 <重要無形民俗文化財「雨宮御神事」>	令和3年5月27日	信州ケーブルテレビジョン	
上棟式で建物の無事願う <武水別神社「松田館」再建へ>	令和3年5月31日	信州ケーブルテレビジョン	
市民の心につながりと誇りを <日本遺産シンボルマーク決定>	令和3年6月28日	信州ケーブルテレビジョン	
祇園祭は治田神社で神事 <茅の輪くぐって感染予防を>	令和3年7月8日	信州ケーブルテレビジョン	
必勝餅供えコロナ退散を <武水別神社で「柏葉祭」>	令和3年7月15日	信州ケーブルテレビジョン	
屋根改修で仏像引っ越し <観龍寺観音堂保存会が支援呼び掛け>	令和3年7月16日	信州ケーブルテレビジョン	
今年も神事のみ 来年は本来の祭りを <第82回戸倉上山田温泉夏祭り>	令和3年7月18日	信州ケーブルテレビジョン	
茅の輪くぐって疫病退散祈る <稲荷山祇園祭神事>	令和3年7月18日	信州ケーブルテレビジョン	
姨捨SAに日本遺産展示コーナー設置 <月の都千曲をPR>	令和3年7月29日	信州ケーブルテレビジョン	
日本遺産ガイド養成講座受講生を募集します	令和3年8月1日	市報千曲令和3年8月号	
県神社庁長訪れ厳かに <治田神社秋季例大祭>	令和3年9月21日	信州ケーブルテレビジョン	
郷土の自慢日本遺産を寸劇で <ふるさと物語りハ・更級小6年生>	令和3年9月27日	信州ケーブルテレビジョン	
伝統の祭り時短で開催 <感染症対策で大頭祭「釜清め神事」>	令和3年12月3日	信州ケーブルテレビジョン	
日本遺産センター完成 <情報・観光の拠点として12/22グランドオープン>	令和3年12月19日	信州ケーブルテレビジョン	
文化財の防火対策を確認 <文化財防火デー@長雲寺>	令和4年1月26日	信州ケーブルテレビジョン	
先人の積み立てで生かし御開帳へ <善光寺大本願別院「観音寺」の壁修復>	令和4年1月28日	信州ケーブルテレビジョン	
萱葺きから銅板葺きへ <観龍寺観音堂(森)の改修工事完了>	令和4年2月2日	信州ケーブルテレビジョン	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「月の都 千曲」の日本遺産への認定に関する情報について、幅広く発信できた。
 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、多くのイベント・行事と同様、歴史的風致を形成する祭礼・伝統行事等についても縮小し実施された。地域住民の関心事であるため、メディアに多く取り上げられた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

地域の歴史や文化財に関する情報を積極的に発信することにより、歴史的風致の認識の向上を図る。

状況を示す写真や資料等

日本遺産ガイド養成講座
受講生を募集します

月の都千曲
 ■申込・問い合わせ先 日本遺産推進室 (内線 4122)

■日程・テーマ 下表の通り
 ■会場 市総合観光会館
 ■対象者 日本遺産の案内に興味があり、全5回すべてを受講できる人
 *参加者は講座受講終了後、実際にガイドをお願いします。
 ■定員 40人(先着順)
 ■申込方法 8月2日(月)から8月31日(火)までに電話で申し込んでください。
 *日程、内容などは変更になる場合があります。

千曲市を訪れる観光客に、日本遺産「月の都千曲」の構成文化財を案内するガイドを養成します。全受講者には修了証をお渡しします。

養成講座の受講生を募集する記事

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和3年度

項目

歴史的風致の認識を高めるための取組

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

令和2年6月に「月の都 千曲」が文化庁から日本遺産に認定されたことを受け、文化庁の文化資源活用事業費補助金(観光拠点整備事業)を活用し、旧姨捨観光会館の改修工事を実施し、千曲市日本遺産センターとしてオープンした。(令和3年4月1日プレオープン 令和3年12月22日グランドオープン)(来場者数2787人※令和3年12月22日～令和4年3月31日の間)
「月の都 千曲」の認知を図るとともに、観光案内をする中で歴史的風致の魅力のPRを一体的に行い、効果的な情報発信を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし
引き続き情報発信を行うとともに、来場者を増加させるために施設の認知度を上げる取り組みを行う。

状況を示す写真や資料等

センターでは、日本遺産に認定された「月の都 千曲」のストーリーと構成文化財に関する展示、来訪者への観光案内・情報発信を行うほか、イタリアンレストラン「イル・ルーナ」が併設されています。

日本遺産の主要な構成文化財である「姨捨の棚田」「長楽寺」などからのアクセスが良いため、訪れた方が気軽に立ち寄り、休憩できる場所として日本遺産を活用した観光振興の拠点となる施設を目指します。



展示スペース



日本遺産センター 外観

評価対象年度	3年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 千曲市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和4年5月25日	
(コメントの概要)	
<p>①稲荷山伝統的建造物群保存地区での建造物の修理・修景について、事業の前倒し等行い、早く多くの建造物を修理・修景できれば、より多くの人に披露することができるので、早期の整備をお願いしたい。</p> <p>②稲荷山地区の商業灯だが、地域に合わせたデザイン、色に配慮し、整備をしていただきたい。</p> <p>③松田家について、展示工事については人に見てもらうものであり、重要なことなので、実施には特段の配慮をいただきたい</p>	
(今後の対応方針)	
<p>①現在、稲荷山地区と屋代小学校旧館を優先して事業実施している。予算については、毎年補助を受けられる上限額が設けられており、これを最大限活用できるよう実施している。</p> <p>②意見を参考にし、取り組んでいく。</p> <p>③母屋についてはほぼ新築であるため、展示物の内容を季節によって変えるなど工夫し、多くの方に来てもらえるようにしていく。</p>	